

令和6年度第2回伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事概要

開催日時	令和7年3月 24 日(月)10:00～11:20
開催場所	伊賀市役所4階 庁議室
出席委員	久 隆浩(近畿大学) 辻上 浩司(三重県伊賀地域防災総合事務所) 島田 和幸(京都府山城広域振興局) 中浦 順一郎(伊賀市推薦委員) 杉本 佳也(伊賀市推薦委員) 谷本 友紀(笠置町推薦委員) 大仲 順子(南山城村推薦委員) 奥田 誌織(南山城村推薦委員) 奥谷 正美(山添村推薦委員) 中西 義樹(山添村推薦委員) 我山 博章(名張市推薦委員) 長岡 孝寿(奈良県美しい南部東部振興課) 代理出席
欠席委員	大西 勝治(奈良県美しい南部東部振興課) 川向 啓造(伊賀市推薦委員) 東 達廣(笠置町推薦委員) 時枝 民生(名張市推薦委員)
事務局	伊賀市企画振興部 風隼部長、中矢次長兼総合政策課長、総合政策課 奥沢主幹、森林主査 南山城村企画政策課 井上課長、橋本課長補佐 山添村総合政策課 椋本課長、井上課長補佐、菊山主事補 名張市なばりの未来創造部 宮崎部長、名張市総合企画政策室 今村室長、西口係長
議事日程	1. 開会 2. あいさつ 3. 議事 (1)第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョンの見直しについて (2)今後のスケジュールについて 4. その他
議事概要	1. 開会 ただいまから、令和6年度第2回伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会を始めさせていただきます。 ★会議及び議事録公開の確認 本日の会議は、会議を公開し会議の傍聴を認めている。本日の会議を傍聴される

方、報道関係者の撮影等について、ご了解、ご理解をお願いします。また、会議録についても公開させていただく。

★会議成立の確認

委員の半数以上の出席があるため、会議成立を確認。なお、伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱第6条第3項に規定があることから、大西委員の代理として、長岡様に出席いただいていることを報告。

それではこの後は、同要綱第6条第1項により、「会長が議長となる」とあるので、会長により議事進行をお願いしたい。

★資料の確認

事項書の下に記載の配布資料の確認。

2. あいさつ

開会にあたり、会長から一言ごあいさつ申し上げる。

— 会長 あいさつ —

3. 議事

(1)第2期伊賀・山城南・東大和定住自立圏共生ビジョンの見直しについて

—事務局【資料1】第2期共生ビジョン(変更案)により説明—

(委員):

今までのビジョンと違うのは、先ず協定書全文を載せるか載せないかという点。仮に載せないとしても、14 頁からの「協定の内容」で、甲が何で乙が何でと明示した方が良い。

(会長):

今回は協定書全文を載せず、その代わりに一覧表で示した。皆さん、この体裁で良いか。ただ、そのまま載せると、甲乙が何か分からないので、一番最初にその説明をするか、甲乙の言葉を少し変えるか、事務局でどういう表現がパツと見て分かりやすいか検討してほしい。

(委員):

せめて中心市の伊賀市は、色を変えると見やすい。協定なので、やはり同じことが繰り返し書かれていると、住民が見たとき、分かりにくいと感じる。

(会長):

一覧表にしたことで、重複の部分や名張市と伊賀市の部分が他の町村とは違う表現になっているのが分かるようになるので、読んでいただいた住民の方々がより理解ができるような形で、もう少しブラッシュアップしていただくと良いというご意見。またこの辺りも工

夫をお願いしたい。

(委員):

22 頁からの「活用する補助金等」欄について、敢えて載せてあるのが2箇所なのは何故か。見る限り、定住自立圏共生ビジョンを作ったから、もらえる補助金というわけでもないようだ。

<事務局>:

定住自立圏制度とは別の話として、当初からビジョンで、この事業はこの補助金を活用しているという意味で載せていると思う。

(会長):

この「活用する補助金等」の欄、もう一度記入する基準も含めて整理をお願いしたい。

(委員):

今回の見直しでは厳しいかもしれないが、名張市は、「まちの保健室」等すごく子育て支援に力を入れていると思う。その取り組みも圏域内に広げていただければ、ご検討いただければと思う。

(委員):

今回の見直しがマイナーチェンジとのことで、例えばあと2年間でも、特に喫緊の課題があれば、それは入れた方がいいのかなと思う。

(会長):

今回の見直しは、名張市が入ったことを、早く総務省に報告しないといけないということで、スピード感を持って進めるということ。そういう意味では、とりあえずこういう形のマイナーチェンジで、もう来年度以降すぐに取り組める事業が出てくるのであればそれは、このビジョンにも盛り込みながら進めていくということで、2段構えでやるというのもあるかと思う。ご検討いただければと思う。

(委員):

喫緊の課題でいうと、産科医療機関の問題が読み取れるかどうか、ニュアンスを再確認してほしい。あと防災や消防関係も当然記述はあるが、市町村会だけではなく、都道府県を跨ぐような、全国的にも大きな課題になっているので、それが今回読み取れるのであればいいし、少し不明確であれば、分かるような工夫があったほうがいい。

<事務局>:

施策の体系でいうとなかなか難しい所もあるが、産科医療機関の問題が「救急医療」の所で読み取れるかどうか、部会で検討する。

(委員):

19 頁の成果指標(KPI)一覧で、R8 年度目標値が何倍にも増えているのがあり、名張市が入るとこんなに増えるのかと改めてびっくりした。「観光消費額」の 43,212 円や「圏域内運行バス年間利用者数」の 2,600,000 人は、どのように算出しているか。

(委員):

観光消費額は、「1人当たりの」という言葉を入れないと、やはり分からない。

<事務局>:

先ずR2年度の基準値が 14,396 円で、最新値のR5年度が 23,737 円で、そこに名張市が入り、積み上げて 43,212 円で上方修正している。

(会長):

ただ、これは、1人当たりなので、積み上げではないはず。そこをもう一度担当課に確認して、精査をしたほうがいいかと思う。それと「圏域内運行バス年間利用者数」の 2,600,000 人も確認して、この数値でいけるのであれば、これをお願いしたい。また、交通網の話だと、名張市が入ることで、近鉄大阪線が、いわゆる交通網の骨格として出てきたことで、JR、近鉄を繋ぐ「伊賀鉄道」の役割がとても重要になってくる。32 頁の一番上の「政策」に、伊賀鉄道をちゃんと位置付けた方が、その後の所も意識すると思うので、ご検討いただければと思う。

(委員):

「R2年度現状値」は名張市が入っていないくて、「R8年度目標値」は名張市が入っている。これを比較しても意味が無くなってしまうので、2段書きにして、もともと置いた目標値も置いておくと、いいのかなと思う。

(会長):

数値のすべてが名張市を足し込んだものでもないもので、そのあたりがなかなか悩ましいが、足し込んだものは括弧書きで、表すとか、少し工夫できるところもあると思うので、ご検討いただければと思う。

(委員):

今回の共生ビジョンの表紙からロゴマークが外れているが、これは載せないのか。

<事務局>:

ロゴマークは、これを踏襲するのか、新たに変更するのも含めて考えた所、色付けデザインのロゴマークはどうしても構成市町村のイメージになるので、以前から併用して使っていた文字デザインのロゴマークを、引き続き使っていければと事務方で協議した。

(会長):

まだ結論が出ていない様子なので、引き続きどういうものでもいいか、議論を続けていただければと思う。

(委員):

力を入れている分野で、抜けている項目はないか一通り見ていると、1次産業の取組が読み取れないので気になった。オーガニックビレッジ宣言もしているので、ご検討いただきたい。

(会長):

名張市の地場産品直売所も増えて、いわゆる6次産業化を含め、いろいろな可能性が出てきていると思う。また、カーボンニュートラルの項目も無いので、合わせてご検討いただきたい。それから、名張市と伊賀市の共通課題である郊外ニュータウンや空き家についてなど連携して取り組みができる考えるので、次のビジョンの改定のときでも良いので、そのあたりをうまく活用していただければと思う。

それでは、いくつもお意見を賜ったので、事務局で反映をしていただき、より良いものに仕上げて、完成版にしていいただければと思う。

(2)今後のスケジュールについて

—事務局【資料2】スケジュールにより説明—

4. その他

—事務局 委員旅費の説明—

<事務局>:

他にご質問等よろしいか。これをもって、本日の会議を終了させていただく。どうもありがとうございました。